



開催概要

- 名称：新価値創造展 2019（第 15 回 中小企業総合展 東京）
- 主催：独立行政法人 中小企業基盤整備機構
- 日時：2019 年 11 月 27 日(水)～11 月 29 日(金) 10：00～17：00
- 会場：東京ビッグサイト 南 1・2 ホール（東京都江東区有明 3-11-1）
- 入場：無料（事前来場者登録受付中）
- 出展者数：約 380 社・団体
- 公式サイト：<https://shinkachi-portal.smrj.go.jp/event/shinkachi2019/>

展示分野

今、注目されている 3 つの分野を設定し、29 のカテゴリーに分類して会場をゾーニングすることで、効率よくマッチングを行えるレイアウトとなっています。



海外 CEO 商談会（東京ビッグサイト南展示棟 2 階会議室）

新価値創造展の開催に合わせて「海外 CEO 商談会 in 新価値創造展 2019」を隣接会場で開催します。インドネシア、ミャンマー、台湾、タイ、ベトナムより、製造業から販売業まで多岐にわたる企業 40 社の CEO 等を招聘。参加無料で、日本語での商談も可能です。



注目の特別展示

開催テーマと連動した先進的な技術、サービスを紹介。最新技術の体験展示もご用意。



 **SDGs ~あらゆる人々の笑顔と未来を支える~**

世界的に重要なテーマである持続可能な開発目標（SDGs）に向け、実用化が進む画期的な事例をご紹介します。

生体データの活用とデータヘルス



生体親和性の高いセンサー
着るセンサー

体験展示

ビッグデータの活用

自身のもう1つの身体で「できる」を増やす



体験展示

分身ロボット

食品残渣から再生可能エネルギーを創生



使い捨てプラスチック代替の新素材



非可食バイオマスによる化学原料



排水量が1/50



革新的な熱電発電



<参加企業・団体>

WOTA 株式会社、株式会社オーシャンアイズ、株式会社オリィ研究所、株式会社環境経営総合研究所、Green Earth Institute 株式会社、株式会社 Xenoma、東京大学工学系研究科電気系工学専攻染谷研究室、バイオエナジー株式会社、ヘルスグリッド株式会社、株式会社ミエルカ防災、株式会社モッタイナイ・エナジー

 **生産性向上 ~中小企業の生産を“変える”~**

AI、IoT、自動化センサー、ロボット、生産管理スケジューラーなど、生産性向上の課題に光明をもたらす、先端的事例をご紹介します。

生産現場を見える化リアルタイムに制御



エッジAI

模擬ラインで見える化を実感

AI×ロボティクスによる自動化された外観検査



簡単に作れるAI生成ツール



人手不足に対応する介護支援プラットフォーム



大企業と中小企業の連携

<参加企業・団体>

i Smart Technologies 株式会社、株式会社エイシング、株式会社クロスコンパス、TIS 株式会社、4 Dセンサー株式会社、ものレボ株式会社、株式会社ロビット、パナソニック株式会社（株式会社エー・アンド・デイ/キング通信工業株式会社/株式会社幸和製作所/ジューコム株式会社/ノーリツプレジジョン株式会社/株式会社富士データシステム/芙蓉開発株式会社）

■ 新価値創造賞について

他社との連携や新分野への進出に積極的に取り組み、新価値の創造に大きく寄与することが期待される企業や新価値創造を実践している企業へ「新価値創造賞」が贈られ表彰されます。

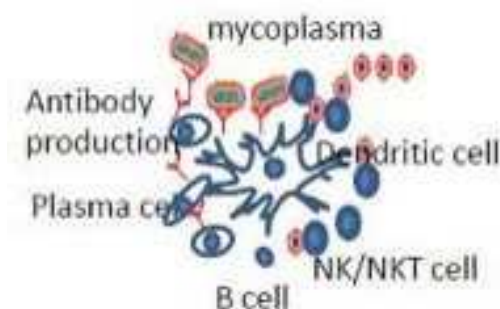
本年の新価値創造賞 表彰式は、11月29日(金)、13時10分より会場内メインステージにて行う予定です。

<新価値創造賞 2018 受賞企業 (抜粋)>

エムバイオテック株式会社 (東京都)

出展製品：マイコプラズマ感染症に対する最先端予防未病医療

神経免疫難病などの有効な治療法が確立されていない疾患に悩む患者様のアンメット・メディカル・ニーズにも合致する創薬シーズや創薬関連技術を提案。製品/技術/ライセンスの導出、共同研究/開発のための Win-Win な事業提携を目指しています。



受賞理由：

さまざまな疾患の原因となる「マイコプラズマ感染症」の未病対策に関する高い技術力と明確な事業戦略を評価。ワクチンの開発やアレルギー対応治療など幅広い医療分野への応用の可能性が高く、感染症予防という社会的な問題に対して画期的かつ統合的なアプローチに取り組む同社の姿勢が評価されました。

株式会社小松精機工作所 (長野県)

出展製品：三次元構造部品のマイクロ精度製造技術(金属 MEMS)

板厚 0.01mm のステンレス金属箔に、複数異形穴を1回のプレス加工で打ち抜く技術です。打ち抜いた金属箔を低温で複数枚拡散接合し、マイクロポンプ用部品とする製造技術を確立しました。これにより、従来半導体プロセスでしか製造ができなかった MEMS 部品を金属で実現することが可能となりました。



受賞理由：

ピコ秒レーザーを使った金属への微細加工技術。長期的な視点をもった研究開発により、継続的に新規技術を発表している点を評価。自由曲面へのレーザー加工技術のほか、血管治療用器具など医療分野の技術にも注力しており、絶え間ない新しい分野と技術への挑戦が評価されました。

■ ステージプログラム

テーマにそった注目の講演を連日開催します。(聴講無料) 事前申込が必要です。

※都合により講師、プログラムの内容が予告なく変更となる場合があります。

----- メインステージ -----

11月27日(水)	
10:30 ~ 11:30 (60分)	<p>基調講演 日本経済再生のシナリオと企業革新</p> <p>人口高齢化が進み、中国の台頭など世界経済の構造が大きく変わる中で、日本経済再生の必要性が高まっている。AI やブロックチェーンなどの新しい情報技術は、さまざまな新しい可能性をもたらすとともに、人々の働き方や組織のありかた、社会の構造などに大きな変革をもたらす。こうした技術の活用を中心に、再生の方向付けを検討する。</p> <p>早稲田大学ビジネス・ファイナンス 研究センター 顧問 一橋大学 名誉教授</p> <p>野口 悠紀雄氏</p> 
12:00 ~ 13:00 (60分)	<p>IoT/AIを活用した 科学的介護の実践報告</p> <p>*16年6月に、IoT 活用による高齢者施設向け「みまもり安心サービス*1」を事業化。クラウド上にセンシングデータを集約し、データ分析型ケアマネジメント支援サービスとして好評を得ている。介護分野におけるIoT/AI 活用や科学的アプローチに向けた活動報告を行う。</p> <p>*1: http://mimamori.apc.panasonic.com</p> <p>パナソニック株式会社 ビジネスイノベーション本部 スマートエイジングケアプロジェクト 総括担当 プロジェクトリーダー</p> <p>山岡 勝氏</p> 
13:30 ~ 15:00 (90分)	<p>経済価値と社会価値の両立 ~SDGsの企業実装~</p> <p>SDGs をどのように企業の経営に生かすか、そしてビジネスを通じて社会課題を解決し、企業や社会のサステナビリティを向上していく施策について、それらを実践している中小企業経営者に取り組みをお伺いします。経済価値と社会的価値の関係及び両立について議論します。</p> <p>モデレーター 慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授 株式会社横田アソシエイツ 代表取締役 横田 浩一氏</p> <p>パネリスト Green Earth Institute 株式会社 代表取締役CEO 伊原 智人氏</p> <p>パネリスト 株式会社ナカダイ 代表取締役 株式会社モノファクトリー 代表取締役 中台 澄之氏</p> <p>パネリスト 平和酒造株式会社 代表取締役社長 山本 典正氏</p>    
15:30 ~ 16:30 (60分)	<p>ロボット技術と未来社会</p> <p>ロボット技術で人々の文明・文化の進歩に貢献することが、未来ロボット技術研究センターの活動目的である。ロボットの研究は工学全般にかかわる複合的な領域であり未来の社会・生活・文化を形成する要素として不可欠なロボット技術である。本講演では、目的に応じた最適な姿を目指して開発してきたロボットおよびその技術を紹介する。</p> <p>千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 所長</p> <p>古田 貴之氏</p> 
11月28日(木)	
10:30 ~ 11:30 (60分)	<p>特別講演 新たな挑戦を形にする創造生産性の高い中小企業</p> <p>日本にはユニークな技術を持つ中小企業が沢山ある。既に、幾つもの会社がそれらの技術を使って、世の中に新しい価値を生み出している。成功の鍵は、価値起点の対話と仲間づくり。彼らは、価値起点で技術を表現し、仲間の持つ「自らとは違うユニークな技術」も組み合わせ、新しい価値を生み出している。大企業とも新しいビジネスを始めている。講演では事例と共に、企業が創造生産性を高める手法を紹介する。</p> <p>株式会社ローランド・ベルガー グローバル共同代表 日本法人代表取締役社長 工学博士</p> <p>長島 聡氏</p> 
12:00 ~ 13:00 (60分)	<p>IoE (Internet of Energy) とエネルギービジョン</p> <p>エネルギーのインターネット化が進む中でキーワードはSDRであると考えている。すなわち需要地内のスマート化 (S)、そのためのデジタル化 (D)、さらにオフグリッドも含めた強靱化 (R) である、コンセプトも含めて今後を展望する。</p> <p>国立大学法人東京工業大学 特命教授・名誉教授 コージェネ財団 理事長</p> <p>柏木 孝夫氏</p> 
13:30 ~ 15:00 (90分)	<p>ビッグデータをフル活用したプラットフォームで健康管理</p> <p>生体情報含むビッグデータの活用が期待される「デジタルヘルス」領域。生体情報の解析・評価技術、健康経営向けサービス等を手掛けるヘルスグリッド㈱は、本年、東京大学内に社会連携講座を開設、筋肉研究で著名な石井直方教授とともに筋機能に関する研究およびサービス展開を検討する。ビッグデータが真価を発揮するための「本質」を議論する。</p> <p>ヘルスグリッド株式会社 代表取締役社長 棚橋 孝江氏</p> <p>奈良県立医科大学 MBT研究所 研究教授、 医学博士、技術経営修士 東京大学 客員教授 梅田 智広氏</p> <p>東京大学大学院 総合文化研究科・ 新領域創成科学研究科 教授 石井 直方氏</p>   
15:30 ~ 16:30 (60分)	<p>AIが拓く創薬・医療の未来</p> <p>講演者は、2016年の11月に、ライフ分野を対象としたAI 開発を産学、異業種連携で進めるため、110以上のライフ系・IT系企業やアカデミアからなるライフ・インテリジェンス・コンソーシアム (LINC) を立ち上げた。本講演では、LINC の事例を紹介するとともに、AI がライフ業界にもたらすインパクトについて講演する。</p> <p>京都大学大学院 医学研究科ビッグデータ 医科学分野 教授</p> <p>奥野 恭史氏</p> 

11月29日(金)

10:30
~
11:30
(60分)

特別講演 人とサイバー・フィジカル空間を融合する革新的サイバニクス技術 ～医療・介護福祉分野における新価値創造への取り組み～

講演内容は当日発表します。

CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO
筑波大学 システム情報系 教授
サイバニクス研究センター 研究統括



山海 嘉之氏

11:50
~
12:50
(60分)

生分解性バイオマスプラスチックを真剣に考える!

海洋マイクロプラスチックに代表されるように、非生分解性プラスチックのごみ問題が大きな課題となっている。「生分解性プラスチック」は解決策の一つとして期待されているが、多くの課題も残っている。本講演では、バイオマスから生産される「生分解性バイオマスプラスチック」を中心に、現状と今後の課題について紹介する。

東京大学大学院 農学生命科学研究科
生物材料科学専攻
高分子材料科学研究室 教授



岩田 忠久氏

13:10
~
13:40

— 新価値創造賞 表彰式 —

14:00
~
15:00
(60分)

5Gで生まれる新たな価値連鎖。“現場の知見”と5Gを結びつけるフレームワーク

単なる通信手段を超えて、社会基盤、産業基盤を大きく変えると言われていた5G。その主役はスマホなどのデバイスではない。解決すべき問題を知る“現場”、あるいは問題解決のために要素技術開発に取り組んでいる技術ベンチャーたちにはかならない。しかし本サービス開始前、5Gを生かしたアプリケーションを携帯電話事業者と共同開発できているのは、比較的規模が大きい企業だけだった。そうした中、これまでバリューチェーンを上流で支えてきた中小企業は、この潮流の中でどのような価値を生み出せるのか。ベンチャーを含む300社にのぼるパートナーと協創プログラムを生み出してきたNTTドコモの事例を紹介しながら、5G時代の新しいバリューチェーンの形について語り合う。

株式会社NTTドコモ
5G-IoTソリューション推進室
ソリューション営業推進担当部長
エバンジェリスト



有田 浩之氏

フリーランス
ジャーナリスト



本田 雅一氏

15:20
~
16:45
(85分)

デジタルトランスフォーメーション(DX)による新価値創造と製造業における成功事例

デジタルトランスフォーメーション(DX)は、IoT、AI、クラウドなどを活用して課題発見と新たな価値創造により企業変革を起こす取り組みです。そのため、経営者、事業部門、IT部門の三位一体での推進が成功の鍵です。ここでは、DXの動向、DX推進指標の活用などを紹介し、成功事例として旭鉄工株式会社社長の木村哲也氏と対談を行います。

南山大学 理工学部
ソフトウェア工学科
教授(工学博士)



青山 幹雄氏

Smart Technologies
株式会社
代表取締役社長CEO
旭鉄工株式会社
代表取締役社長



木村 哲也氏

■出展者プレゼンテーションステージ

毎日11時～16時の間、20分間隔で3日間、合計36の出展者がプレゼンテーションステージを展開いたします。

実施時間	11月27日(水)		11月28日(木)		11月29日(金)	
	ブース	企業名	ブース	企業名	ブース	企業名
11:00～11:20	I-086	株式会社インテリジェンス・ワークス	G-028	カナパッケージ株式会社	I-105	株式会社ジョーソンドキュメンツ
11:20～11:40	I-053	株式会社ナノカム	I-071	梅原モデル株式会社	Q-022	株式会社 tiwaki
11:40～12:00	I-034	有限会社スイサク	H-035	株式会社ワイヤレスコミュニケーション研究所	I-019	株式会社蒼天
12:00～12:20	I-144	ストロープ株式会社	I-029	株式会社オプス	I-228	伊福精密株式会社
12:20～12:40	I-050	株式会社パリティ・イノベーションズ	I-101	東邦電子株式会社	I-112	株式会社空色
12:40～13:00	I-035	株式会社ウイング	I-010	未来科学株式会社	I-131	サムテック・イノベーションズ株式会社
14:00～14:20	H-020	株式会社疲労科学研究所	I-094	株式会社TKアジャイル	I-185	株式会社福垣金型製作所
14:20～14:40	Q-018	スチームバンクデジタル株式会社	Q-002	株式会社ディーピーエス	I-011	株式会社 NAZCA
14:40～15:00	H-001	エムバイオテック株式会社	I-215	有限会社シンセテック	G-026	株式会社アルファ技研
15:00～15:20	I-168	晃信工業有限会社	G-013	協同組合ティー・ディー・アール	I-022	枚岡合金工具株式会社
15:20～15:40	G-010	治部電機株式会社	I-250	JRCS 株式会社	I-059	株式会社理工電気
15:40～16:00	I-248	SIB 株式会社	I-114	株式会社エクスパートギグ	I-125	湯浅糸道工業株式会社